



地域一丸となった自主防災活動

13区自主防災会が優良賞

平泉町13区自主防災会(千田幸男会長)が地域一丸となって取り組んでいる自主防災活動が認められ一関市消防本部より優良表彰を受賞しました。

この表彰は、一関市・平泉町内で自主的に防災活動に取り組む地域防災力の向上に努めている個人団体を表彰するものです。千田会長(写真右)は「受賞は会員一人一人の積極的な参加による活動のおかげ。これからも防災意識の向上に努めたい」と話していました。



新入学児童の安全な登下校を願う

交通安全母の会連合会が黄色い帽子を贈呈

3月18日、交通安全母の会連合(小野寺裕子会長)が町内小学校へ今春入学する新入学1年生の交通安全を願い、黄色い帽子と蛍光素材のランドセルカバー 54セット(平泉44人分、長島10人分)を町教育委員会に贈りました。

岩淵教育長のもとを訪れた小野寺会長(写真右から2人目)は「黄色い帽子はドライバーからも目に留まりやすいので、新1年生の安全な登下校に役立ててほしい」と話していました。

ひとにやさしいまちづくり表彰

しづか亭が多様な利用者への配慮で受賞

奥州平泉温泉そば庵しづか亭(字長倉・小林宏治代表)が、多様な障害のある利用者に配慮した施設改修への取り組みが認められ、県の令和2年度ひとにやさしいまちづくり表彰団体に選ばれました。

3月18日に同施設で行われた表彰状の伝達式には、小林代表(写真右)と改修工事に携わったエイコー・ハウスクアの佐々木英夫代表(写真左)が出席し、県の保健福祉部より表彰状と記念品が贈られました。



伝統芸能の学習成果を披露

郷土芸能体験講座「達谷窟毘沙門神楽」

3月20日、伝統芸能「達谷窟毘沙門神楽」の体験を通じ、地域の伝統文化を学ぶ郷土芸能体験講座の最終講座が平泉小学校体育館で開催されました。

本年度は、感染症の影響で実践発表の機会が少なくなりましたが、最終講座では、1年間の集大成として、受講生10人が「御神楽」と「くずし舞」を保護者ら25人の前で披露。閉講式では、受講生から「来年度も神楽を続けたい」などの感想が発表されました。

史跡指定地での現状変更は許可が必要です

平泉町には、9つの国指定史跡・名勝があります。これらは我が国の歴史を理解したり、景観上、芸術上欠くことのできない重要なものです。

史跡などは現状のまま保存することが原則ですが、やむをえず史跡内で現状を変更しようとする場合は現状変更の許可が必要です。早めに文化遺産センターまで連絡をお願いします。

■許可申請が必要な現状変更の事例

- ▷建築物の新築・増築・改築、建築物の解体や改修
- ▷工作物(仮設物含む)の設置や改修
- ▷管や側溝・ケーブル等の埋設や改修
- ▷土木工事等による掘削や造成
- ▷地面の舗装
- ▷道路や水路の改修や補修
- ▷樹木の伐採

※その他にも許可が必要な場合がありますので、文化遺産センターまで確認をお願いします。

■問い合わせ先

平泉文化遺産センター ☎46-4012

特別史跡	中尊寺境内 毛越寺境内附鎮守社跡 無量光院跡
特別名勝	毛越寺庭園
史跡	柳之御所・平泉遺跡群(柳之御所遺跡・倉町遺跡) 金鷄山 達谷窟
名勝	旧観自在王院庭園 おくのほそ道の風景地(金鷄山・高館・さくら山)



史跡地内の現状変更の様子(仮設物設置)

史跡公園はきれいに利用しましょう

旧観自在王院庭園は国の名勝で、世界遺産の構成資産でもある史跡公園です。

犬のフンやゴミなどはきちんと持ち帰り、皆さんが気持ちよく利用できるよう、ご協力をお願いします。

■問い合わせ先

平泉文化遺産センター ☎46-4012



名勝「旧観自在王院庭園」



秋の開催を目指す「義経公東下り行列」開催時の様子

■問い合わせ先

平泉観光協会 ☎46-21110

例年5月1日から5日まで開催している「春の藤原まつり」は、新型コロナウイルス感染症の国内感染状況を考慮し、規模を縮小して開催することに決定しました。

中尊寺、毛越寺の各法要と5月5日(水)の弁慶力餅競技大会は通常通り実施しますが、5月3日(月)に予定していた「源義経公東下り行列」は、不特定多数の人が集まることから、感染症予防対策が十分に担保されないため、実施を見送ることとなりました。

「源義経公東下り行列」については、秋の開催へ向けて関係団体と協議してまいります。

各行事については、平泉観光協会ホームページなどで随時公開していきます。

令和3年「春の藤原まつり」
規模を縮小し開催